

ニセコにいながらにして 北海道の魅力あふれる風景をめぐるります。

JR北海道車内誌「THE JR Hokkaido」表紙画を25年間にわたって担当するほか、六花亭などの商品パッケージにも作品が用いられ、その画風が多くの人に親しまれるイラストレーター・藤倉英幸。藤倉は1980年代後半から、北海道の風景が持つ四季折々の魅力や空気感を、洋紙を用いたはり絵作品で情感豊かに表現し、見る者を魅了してきました。有島記念館では、2017年に切り絵、はり絵、アクリル画、ポスターなどの印刷物など作品や資料など約1万点の寄贈を作家から受けて、整理作業を進めています。

2018年2月からの1年間は「藤倉英幸作品受贈記念展」として、北海道の四季を作品でたどる3回の展覧会を開催してきました。今回の「冬の藤倉英幸展」(18年12月から19年3月)では冬から春にかけての作品を紹介します。このほか、藤倉が描いた北海道の魅力ある風景画を合わせて紹介し、ニセコにいながらにして“北海道旅行”を楽しんでいただける内容となっています。藤倉が織りなす北海道の四季折々の風景をお楽しみください。



藤倉英幸《8月のニセコ》2011年
有島記念館蔵



藤倉英幸《雨の元町》2012年
有島記念館蔵



藤倉英幸《オホーツクの原生花園》2012年
有島記念館蔵



藤倉英幸《ポピー揺れる夏》2011年
有島記念館蔵

関連イベント

藤倉英幸 講演会

「思い出すことども。人々、風景、絵…」

[日時] 1月26日(土) 13:00開始 (1時間半程度)

[講師] 藤倉英幸 (イラストレーター)

参加無料(要観覧料)

*詳細は当館ホームページまたはお電話でご確認ください。



作家略歴

1948年、北海道後志管内島野村(現・岩内町)生まれ。74年にイラストレーターとして独立し、ポスター、パッケージ、装丁など商業デザインを幅広く手がける。80年代に入ると、北海道の風景や人々の生活に目を向けた「切り絵」作品を発表。80年代後半からは本格的に「はり絵」による風景画を描きはじめ、自身のライフワークとする。JR北海道車内誌「THE JR Hokkaido」の表紙画などで広く親しまれている。『静かな風を聴きながら』(2013年、共同文化社)など画集多数。

[交通アクセス]

自家用車 ▶ 札幌、新千歳空港より自家用車で約2時間
J R ▶ ニセコ駅より徒歩約30分(約2.5km)、タクシー5分
バス ▶ 道南バス[倶知安駅発]「有島記念館前」下車徒歩5分
[駐車場] 自家用車用約30台・大型バス用約15台完備

ニセコ町・有島記念館

NISEKO, ARISHIMA TAKEO MEMORIAL MUSEUM

〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57番地 Tel 0136-44-3245